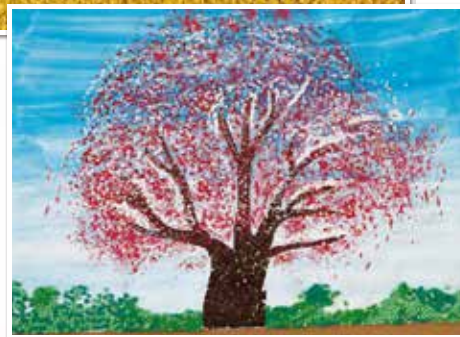




京ヶ峰の四季

第90号

2025年春号



病棟の作業療法で作成した春の作品

変化の時代を乗り越える

春の訪れとともに、心も新たに歩みを進める季節となりました。暖かな陽気に包まれ、自然の息吹と共に、私たちも新たな挑戦に向けて力を合わせていきたいと感じております。

私が京ヶ峰岡田病院に勤務して7年が経ちました。その間、栄養部は新病棟の建設により新しい厨房の導入という大きな転換を迎えました。そして2022年8月には栄養部次長を拝命し、新たな気持ちでこれまで以上に患者さまに満足していただける食事の提供を目指してきました。

しかし、日々の業務の中で私たちは年々厳しい状況に直面しています。食材費や光熱費の高騰、人手不足といった問題です。昨年の診療報酬改定により、食事療養費の患者さまの自己負担額が増加しましたが、日々上昇する食材価格や光熱費に対応する難しさを実感しています。そのような状況の中で食事の質を維持し、最良のものを提供し続けることは私たちにとって大きな挑戦です。

それでも、患者さまから頂く温かい言葉が私たちの支えとなっています。「美味しかった」「楽しみです」といった言葉を聞くたびに、努力が報われ、明日への活力となります。患者さまの笑顔こそが私たちの原動力です。

また、私たちが直面する課題は栄養部だけでなく、病院全体の共通課題でもあります。今年度の病院方針では業務のスリム化が掲げられ、効率化を進めることで得られた時間を患者さまと向き合う時間に充て、より一層サービスの質を高めることを目指します。業務をこなしながらの改革は決して容易ではありませんが、患者さまからの温かい言葉を胸に、その言葉がまた聞けるように、どんな課題にも挑戦し続ける覚悟です。

当院の基本理念である「一人ひとりの患者さまの幸せのために」を実現するため、私自身も学び続け、精進する姿勢を大切に、困難な状況の中でも患者さまに満足していただける食事を提供していきたいと思っております。更に4月には栄養部部長を拝命し、病院全体の発展に貢献できるよう努めてまいります。

医療法人芳精会
京ヶ峰岡田病院
栄養部部長 大野 麻里

基本理念

一人ひとりの患者さまの幸せのために
～ For the Patients ～



私の休日の過ごし方

医局 松井 健



休日 は心と体をリフレッシュする大切な時間だ。学生時代はとにかく外出してアクティブに過ごすことが多かったが、最近は自分の心と体を労わることを重視し、バランスの取れた休日を意識している。



休日の朝 は少し遅めに起きることが多い。起きたら、ゆっくりとコーヒーを淹れ、朝食を楽しむ。休日の朝はトーストとスクランブルエッグにフルーツを添えたシンプルな食事が定番だ。コーヒーの香りを楽しみながら、好きな音楽を流している時間が何よりも贅沢に感じられる。



午前中 は自宅で趣味の時間を過ごす。私は読書が好きで、小説やビジネス書をよく読む。最近は歴史小説に興味があり、戦国時代や幕末を舞台にした作品を読むことで、当時の人々の生き方に思いを馳せることが楽しい。



昼食 は自宅で簡単に作ることもあれば、外食をすることもある。最近は、新しいお店を開拓することが楽しみの一つになっている。気になっていた

カフェやレストランに足を運び、美味しい料理を味わうことが休日の小さな楽しみだ。

午後 は適度に体を動かすようにしている。普段はデスクワークが中心のため、休日くらいは体を動かすことを意識している。ジムでトレーニングをしたり、ランニングに出かけたりする。天気の良い日は河川敷をランニングすることが気持ちよく、自然の中で風を感じながら走ると、心もスッキリする。

夕食以降 はリラックスする時間にしている。映画やドラマを観たり、音楽を聴いたりしてのんびりとした時間を楽しむ。



最近は料理にも興味を持ち始め、休日には自分で作ることも増えてきた。和食の基本を学びながら、出汁の取り方や味付けの工夫をするのが楽しい。

こうして、私の休日は趣味や運動を楽しみながら心身をリフレッシュする時間となっている。忙しい毎日だからこそ、休日をしっかりと楽しむことが、また新たな一週間を頑張るための活力になっている。



院内研究発表会のご報告

開催日: 2025年2月17日(月)
担当: 看護部教育委員会・医療研修委員会

当院では医療サービスのさらなる向上とよりよい職場作りのために、職員がテーマを設けて研究を行い、その研究結果を発表して院内で共有しています。2月に開催した「第22回院内研究発表会」のご報告を掲載いたします。

第1部 看護部教育委員会 担当		
1 ▶	クライシスプランを用いての退院支援 ～患者の思いに寄り添いながら～	葵1病棟
2 ▶	認知症を支えるクライシスプラン ～患者理解を経て見えてきたもの～	葵2病棟
3 ▶	隔離拘束チームミーティングに対する意識調査 ～アンケートから見えてくるもの～	中央4病棟
4 ▶	修正型電気痙攣療法(m-ECT)の看護の現状と課題 ～患者対応と治療効果からみる看護者の考察～	中央5病棟
第2部		
1 ▶	京ヶ峰倶楽部展について ～病院全体がつながる行事を目指して～	リハビリテーション部
2 ▶	心理室の専門性 ～対人援助職のこころ～	医局 心理室
3 ▶	電話の取次時間の短縮を目指して(10年後の再チャレンジ)	総務部

第1部は看護部より4演題、第2部はコメディカル・事務部門より3演題の発表がありました。第1部では、昨年に引き続きクライシスプランについて、m-ECT導入にあたり課題を活かした次への一歩、そして常に頭を悩ませている慢性期病棟の長期化する隔離処遇患者の行動制限最小化にむけての取り組みがあり、各病棟の思いが詰まった発表でした。第2部においては、京ヶ峰倶楽部展の歴史を知ることができ、心理、総務部など各部署を知るきっかけができたと思います。多部署を交えた院内研究発表会は、次回以降も楽しみです。



第6回 京ヶ峰ふれあいまつり	
2024年11月に開催いたしました第6回京ヶ峰ふれあいまつりにて募集をいたしました「ふれあい川柳」に、たくさんのご応募ありがとうございました。今号では、佳作に選ばれた27句をご紹介します。	
● どんぐりに 足止めされる 秋散歩	Ｃ・Ｔ
● 門限だ こっそり帰宅 ポチ吠える	みみりん
● 笑えない 日々の中でも 食進み	ピコちゃん
● 優しさが 思わず泣ける ナースさん	りす
● 月灯り 知らせてくれる 今の私	Ｍ・Ｙ
● 足痛し よいしょよいしょで 日が暮れる	マリモ
● 散歩道 キンモクセイに さそわれて	きよん
● 山はだの 色どりがわり 夏終わる	Ｋ・Ｍ
● 大声で 笑ってしゃべって ウットとばせ!	あーちゃん
● クッキーを 買わずに愛の 羽根募金	近藤大英
● おばあちゃん わたしのかたに 手をのせて	小學生
● きんもくせい かおりがはこぶ たんじょうび	小學生
● ガチャガチャを やった分だけ お手つだい	小學生
● 落ち葉ふみ カサコソカサコソ 秋の音	小學生
● 席替えで 一番前は 大ハズレ	りよーま
● 料理本 買っただけ読むだけ 腹いっぱい	中學生
● 靴ぬぐと 激しいしっぽが お出迎え	中學生
● 落ちていく もみじの影と 冬の音	マイネーム
● 気づいたら やるべき課題 今日期限	高校生
● テスト期間 そうじのスイッチ はいっちらう	高校生
● 手を繋ぐ 恋した二人の 特別感	高校生
● 十八歳 名前で決めた 初選挙	もったん
● 間に合った 飛び乗る電車 逆方向	高校生
● 振られた手 全力笑顔だ あなた誰	高校生
● 四季巡る 夏夏夏冬 暑すぎん?	溶けたねりあめ
● 羞恥心 年重ねる度 どこ行った?	Ｋ・Ｎ
● 疲れても 子どもの笑顔で 元氣出る	2児の母

※掲載順は順不同となります。

ふれあい川柳



行事報告



新春書初め展覧会

■ 2月14日(金)～20日(木)

患者さま・職員の作品138点を院内ソーシャルセンター1階にて展示しました。また、食べ物を題材に病棟ごとに協力して作った「岡田かるた」も展示し、「面白い! 笑ってしまう読み札だね」などと言いながら楽しく鑑賞できました。



岡田かるた大会

■ 3月12日(水)・13日(木)

デイケア・病棟で手作りした美味しそうな食べ物の「岡田かるた」を用い、病棟対抗で競いました。患者さま・職員総勢150名が参加し、コロナ禍後、久しぶりにデイケアと病棟が一緒になって行えたことが何よりの喜びでした。

結果 ▶ **優勝** スマイルA・東病棟・中央3病棟B

150名が
参加しました!

三河地区精神障害者ふれあいスポーツ交流会

■ 2月18日(火)

刈谷病院にて4施設12チームが“ボッチャ”を行いました。緊張しているメンバーもいましたが、他施設の方にコツを教えてもらい、声を掛け合いながら交流を図りました。「楽しかったのでまた参加したい」との感想も聞かれました。



デイケア お花見

■ 4月4日(金)

青空の下、幸田町の彦左公園へ歩いて向かいました。桜はちょうど見ごろ。各々、好みの和菓子を食べ、トランプをしたり、ボールで遊んだりして過ごし、たくさんの笑顔が見られました。

第20回 京ヶ峰倶楽部展 開催・作品募集のお知らせ

今年のテーマは
「つなぐ」

6月25日(水)～29日(日)に第20回京ヶ峰倶楽部展を岡崎市美術館で開催いたします。今年のテーマは「つなぐ」。絵画・書道・写真・手工芸・陶芸など、出展をご希望の方は当院リハビリテーション部までご連絡ください。詳細については随時ホームページ・ポスター等で報告しますのでご確認ください。

※出展は当院外来またはデイケアご利用の方、当院に入院されている方に限ります。ご了承ください。



当院へのアクセス



【交通】

- JR「相見」駅より車で約5分、「岡崎」駅より車で約10分
- JR岡崎駅・相見駅、明大寺、康生と病院を結ぶ巡回バスを運行しています。

おすすめ コーナー

こうじ

麴の魅力



皆さんは、麴と聞いて何をイメージしますか? 私は、毎日使う味噌や醤油を発酵させる物で一般家庭では、あまり使わない物とイメージしていました。たまたまスーパーで手に取った米麴に麴レシピが載っていたのをきっかけに米麴で調味料作

りを始めました。麴には、体に嬉しい効果が沢山。腸内環境を整え、美肌効果もあって免疫力を高めてくれるそうです。酵素の力で素材の旨味が増すので減塩にも繋がります。スメですよ。

葵3・4病棟 中山

(※次号は人事部の職員が担当します。よろしくお願いします。)

編集後記

道端に咲いているタンポポの花を見つけ、春の訪れと力強さを感じました。春は、期待と不安が同居しながらも、新たな一歩を踏み出す勇気もらえる季節だと思います。当たり前の日常に感謝しながら、自分らしい春を見つけていけたらいいですね。 広報委員 平方



医療法人 芳精会

京ヶ峰岡田病院



〒444-0104 愛知県額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔8
TEL (0564) 62-1421 FAX (0564) 62-9338
ホームページ www.kyogamine-okada.com

